

令和元年[2019年]
6月1日発行

議会は5月1日から
クールビズに取り組んでいます

まにわ

令和は5月1日スタート

令和

あたらしい

議会



タブレット
議会
12月からペーパーレス
もみんな慣れました



議会はエコバックを推奨しています



オール真庭市議会は
事務局職員の力もある
女性初の
事務局長
by緒形
神田幸宏 主事
南俊樹 主幹
河本京子 事務局長
赤松ひとみ 主幹
平田延秀 参事

3人の
常任委員長



原秀樹 総務
河部辰夫 産業建設
岡崎陽輔 文教厚生



今年も開催
報告会
語る会
案内を19ページに掲載
古南源二 議長
緒形尚 副議長
築澤敏夫 議運委員長
一丁目一番地は
議会改革
by古南



写真は昨年の草加部会場



新緑の市役所
議会は4階です
ぜひ傍聴にお越しください
CLTを使った隈研吾氏設計の建物を
三菱地所が建設、活用し、東京オ
リンピック終了後、解体し、真庭市
が蒜山に移築すると発表しました
議会はたまたま調査研究中 絵はイメージ
東京オリンピック
晴海プロジェクト



議長に古南、副議長に緒形

議長 ・ 副議長



議長 古南 源二



副議長 緒形 尚

新体制が

スタート

平成31年4月17日に開催した平成31年第2回臨時会で議長、副議長を選出しました。また各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集特別委員会、監査委員等をそれぞれ選出しましたので紹介します。

この体制で2年間頑張つてまいりますのでよろしくお願い致します。

文教厚生常任委員会



委員長
6 岡崎 陽輔



副委員長
22 大月 説子



24 氏平 篤正



19 柿本 健治



7 柴田 正志



2 妹尾 智之



11 竹原 茂三



18 中尾 哲雄

総務常任委員会



委員長
9 原 秀樹



副委員長
8 谷本 彰良



16 入澤 廣成



21 小田 康文



4 古南 源二



23 築澤 敏夫



5 福島 一則



10 山本 久恵

執行部と両輪のごとく

真庭市議会 議長 古 南 源 二

真庭市議会に対しましてご理解とご協力を頂いております。平成28年度に決めた議会活性化策の15施策を実現させるため、議会改革を議会活動の一丁目一番地に据え、議員一丸となつて取り組み活性化の流れを継続してまいります。新しく「令和」の時代が始まり、この元号に含まれている意味のように市民みんなが美しく心を寄せ合

う中で、文化が生まれ育つように、議員各位の持ち味が、その立場で発揮できるように、協調を頂きながら、真庭市の発展と市民生活の向上に努めます。国連が掲げ、真庭市も推進しているSDGsの取り組みについて、議会と執行部が両輪のごとくなるよう持続可能なまちづくりに向けて取り組んでまいります。

議会運営委員会

委員長



榎澤 敏夫

副委員長



福井 莊助



岡崎 陽輔



妹尾 智之



河部 辰夫



原 秀樹

議会広報編集特別委員会

委員長

副委員長

氏平 篤正
大月 説子
緒形 尚
谷本 彰良
初本 勝
山本 久恵

集合写真を24ページに載せています。

真庭市監査委員



氏平 篤正

産業建設常任委員会



委員長
14 河部 辰夫



副委員長
13 初本 勝



3 岩本 壯八



1 緒形 尚



12 庄司 史郎



15 長尾 修



20 中元 唯資



17 福井 莊助

岡山県中部環境施設組合 議会議員



古南 源二



柿本 健治



竹原 茂三



岡崎 陽輔



柴田 正志

以上が本会議で選出された人事です。

信用と信頼を得る

真庭市議会 副議長

緒形 尚

この度は、議員各位から副議長にご推挙をいただき、その責任の重さに身の引き締まる思いです。我々議員は、一人ひとりが様々な立場の市民の想いを代表してまいります。「みんながちがう」からこそ、地域の諸課題にも多角的に向き合うことができます。お互いの違いを認め合い、活発な議論を展開すること、市政発展に向けた政策提言にも繋がると 생각합니다。今後とも、真庭市議会の果たすべき役割を認識し、皆さまの信用と信頼を得ることのできる議会となるよう努力してまいります。

3月定例会

会期2月22日～3月22日

平成31年度当初予算

491億1,104万円

を可決しました

一般会計当初予算	295億8,800万円
特別会計当初予算	130億6,460万円
公営企業会計当初予算	64億8,845万円

対前年比 4億4,126万円(0.9%)増 予算特集は6ページに掲載

【主な内容】今回の一般質問は14人

- ・平成31年度当初予算13件及び補正予算13件 議案24件を可決
- ・井口利美教育委員を再任 人権擁護委員2名を同意 陳情1件を趣旨採択

平成30年度 3月補正予算

10億5,519万円の減額

単位:万円、千円を四捨五入

補正後予算額 518億4,046万円 対前年比 31億7,907万円(5.8%)減

平成30年度3月補正 会計別予算集計表 単位:万円

会計名	3月補正額	補正後予算額
一般会計	△80,484	3,181,961
国民健康保険特別会計	△4,911	521,834
後期高齢者医療特別会計	△5,996	72,056
介護保険特別会計	△1,780	612,487
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	△134	4,927
簡易水道事業特別会計	△7,532	96,378
浄化槽事業特別会計	△10	9,199
津黒高原観光事業特別会計	△8	2,858
グリエイサダ谷事業特別会計	0	785
温泉事業特別会計	△903	13,137
特別会計合計	△21,275	1,333,662
農業共済事業特別会計	△2,425	27,190
水道事業会計	△2,201	123,673
下水道事業会計	2,232	340,519
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	△1,368	177,042
公営企業会計合計	△3,761	668,424
合計	△105,519	5,184,046

千円を四捨五入

消費税アップで…

国の消費税法改正により、真庭市消費税率及び地方消費税率の引き上げに伴う使用料に係る関係条例の整理に関する条例が改正されました。10月1日より

A

場合、施行を延期する。

Q

税率の引上げが再延期された場合はどうするのか。

水道料金や下水道料金は、消費税率が8%から10%に引き上げられます。

プレミアム付商品券 事業377万円を増額

一般会計歳出の主なものは、国土調査事業410万円、プレミアム付商品券事業377万円を増額。総務費は旧落合庁舎解体事業等1億6,425万円、民生費は生活保護費の減額等により2億5,882万円、土木費は道路新設改良事業等事業費確定により2億54万円、災害復旧費は事業費見込による4億4,269万円をそれぞれ減額し、諸支出金(決算剰余金積立等)に9億4,147万円を増額しています。



旧落合庁舎がなくなりました さみしいです

小学校区に集落支援員

集落支援員は、新たに設置する邑づくり会議において、地域づくりをより推進していくため、希望する地域に配置されます。小学校単位(24校区)で1人、週1日、年間50日を目途に活動し、月額8,



集落支援員の委嘱式

000円の報酬が支給されます。希望する地域は、集落支援員を推薦して下さい。現在、上水田他3つの地域で集落支援員が決定しています。

Q 集落支援員は、遷喬小学校区のように大きな校区も1人なのか。

A 学区の大きさに関わらず1人と考えている。

議員報酬が5万円引き上げ

真庭市議員報酬及び特別職給料等審議会は、市長からの諮問を受け、市議会から議会改革の考えや取組状況の説明、真庭市政策アドバイザリーの意見を交え計4回開催しました。

11月22日、市長へ議員の報酬を5万円引き上げ35万円とし、それ以外は据え置くことが適当との答申を提出しました。

市長は答申を踏まえ、議員報酬を引き上げるため条例を改正しました。施行は、公布の日から6月を超えない範囲で定められます。

檜邑・余野幼稚園閉園

平成28年度から、檜邑・余野幼稚園は合同保育を開始し、29年度にそれぞれの地域・保護者に申込数が10人未満の場合、30年度から休園、31年度から閉園することを説明されました。30年度申込数1名で、30年度から両幼稚園を休園とし、31年度申込数が10人未満のため、31年度より両幼稚園を閉園することとなりました。

なお、10人を超える入園希望があった場合、再開も検討されます。



閉園した檜邑幼稚園

真庭消防署が鏡野町富へ出動

真庭市と津山圏域消防組合が事務委託に関する規約を締結し、鏡野町富の一部(大地地区・楠地区・兼秀地区)に対し、真庭消防署が救急出動を開始することになりました。

対象地区は、人口109人、戸数45件で、搬送病院は真庭市が多く、奥津出張所からの出動より8分〜20分真庭消防署の方が早く現場到着できます。

臨時会

議長に古南源二、副議長に緒形尚

4月17日第2回真庭市議会臨時会を開き、公用車事故及び税条例の専決処分の報告、議会選出監査委員に氏平篤正を再任する人事案に同意、消費増税に伴い、65歳以上の低所得者の介護保険料軽減を拡大する条例案1件を可決しました。

また、議長、副議長選挙を行い、議長に古南源二、副議長に緒形尚を選出しました。選挙の結果は次のとおり。

敬称略

▶議長選挙: 古南源二 8票 福島一則 6票 竹原茂三 3票 無効 7票 立候補者は古南源二、福島一則の2名でした。▶副議長選挙: 緒形尚 15票 福井荘助 7票 無効 2票

目木構撤去に住民合意を求める 附帯決議案は否決

3月19日の予算審査特別委員会で、全ての予算案が可決された後、「目木構解体撤去費用の予算の執行にあたっては、地域、保存・研究団体等に対して合意形成のための最善の努力を求める」附帯決議案が岡崎議員から提出されました。起立採択が行われ、賛成少数となり、この案は否決されました。

▼附帯決議案に賛成した議員: 福島一則、岡崎陽輔、中尾哲雄議員

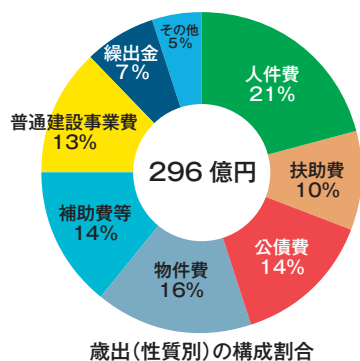
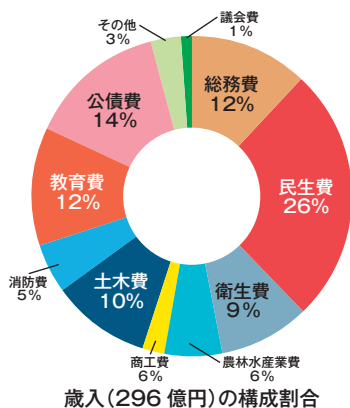
令和元年度 予算

委員長
築澤敏夫
副委員長
谷本彰良

3月18日、19日、議長を除く23人の議員で予算審査特別委員会が開催され、当初予算と補正予算の概要について各部局長、課長等から説明があり、委員から多くの質問があった後、すべて原案どおり可決しました。

一般会計当初予算 295億8,800万円 前年比2%増

令和元年度一般会計の予算規模は歳入歳出とも295億8,800万円で前年度に対し、5億7,800万円、2%の増となっています。これは小学校空調設備事業、湯原振興局、消防湯原分署移転事業を計上。また、市民の命を守る防災対策事業や、持続可能な地域発展を目指した事業(SDGs)も実施します。



一般会計 予算主要事業

- 1 真庭市民の誇りと責任 4億2,500万円
- 2 ライフスタイルを実現する可能性の進化 79億3,900万円
 - ・放課後児童健全育成事業 1億17万円
 - ・乳幼児・児童生徒医療費給付事業 1億8,014万円
 - ・小学校空調設備整備事業 6億704万円 ↑

- ・学校給食施設整備事業 1億8,837万円
- ・地域医療介護総合確保基金事業 7,840万円
- 3 多彩で循環性のある持続可能なまち 20億6,400万円
 - ・未来集落形成モデル事業(湯原・蒜山) 1,473万円
 - ・東京圏からの移住推進事業 1,100万円
 - ・有害鳥獣対策事業 8,196万円
 - ・林業成長産業化地域創出モデル事業 2,927万円
- 4 生活しやすく品格のある都市 42億9,000万円
 - ・消防湯原分署移転事業 2億3,905万円
 - ・蒜山ライディングパーク施設整備事業 2,333万円 ↑

特別会計・企業会計を含めた全会計の合計は、約491億円



写真は米来小学校 市内18の小学校(2校設置済み)にエアコンが設置されます



湯原保健福祉センターへ消防分署が移転

- ・生ごみ等資源化施設整備事業 5,668万円
- ・生ごみ資源化地域産業事業 6,186万円
- ・舗装長寿命化事業 1億5,000万円
- 5 「ひと」と「まち」の将来に責任を持つ市役所 148億7,000万円
 - ・湯原振興局庁舎移転事業 3億7,395万円
 - ・真庭市ホームページ更新事業 1,800万円

平成31年度 当初予算会計別一覧表 (単位:万円)

国民健康保険特別会計	491,462
後期高齢者医療特別会計	76,626
介護保険特別会計	608,599
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	5,052
簡易水道事業特別会計	99,278
浄化槽事業特別会計	8,683
津黒高原観光事業特別会計	2,078
クワイエ管谷事業特別会計	757
温泉事業特別会計	13,924
特別会計合計	1,306,459
水道事業会計	114,753
下水道事業会計	344,254
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	189,837
公営企業会計合計	648,844

ピンクの会場は該当自治会のみ参加となります。青の会場はどなたでも参加できます。ご参加お待ちしております。

市民と語る会で使用する、付せん紙をイメージしています。今年も皆さんに意見を書いていただきます。

開催日時：7月1日(月)
午後1時～
会場：東町住宅臨時集会所

出席議員：◎築澤 敏夫
3班 ○氏平 篤正
岩本 壯八
小田 康文
柿本 健治
庄司 史郎

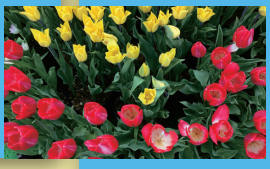
開催日時：7月1日(月)
午後7時30分～
会場：月田公民館

出席議員：◎築澤 敏夫
3班 ○氏平 篤正
岩本 壯八
小田 康文
柿本 健治
庄司 史郎

◎班長 ○副班長

開催日時：7月2日(火)
午後1時30分～
会場：旧上田小学校

出席議員：◎初本 勝
4班 ○中尾 哲雄
岡崎 陽輔
長尾 修
福島 一則
山本 久恵



令和元年 MANIWA CITY 議会報告会+市民と語る会

開催日時：7月2日(火)
午後7時30分～
会場：久世公民館

出席議員：◎初本 勝
4班 ○中尾 哲雄
岡崎 陽輔
長尾 修
福島 一則
山本 久恵



開催日時：7月3日(水)
午後7時～
会場：落合総合センター

出席議員：◎原 秀樹
2班 ○妹尾 智之
大月 説子
緒形 尚
谷本 彰良
中元 唯資

開催日時：7月3日(水)
午後7時～
会場：荒田公民館

出席議員：◎初本 勝
4班 ○中尾 哲雄
岡崎 陽輔
長尾 修
福島 一則
山本 久恵

開催日時：7月3日(水)
午後7時～
会場：社コミュニティハウス

出席議員：◎入澤 廣成
1班 ○福井 莊助
河部 辰夫
古南 源二
柴田 正志
竹原 茂三

地域の課題を ざっくばらんに 語ろう

開催日時：7月3日(水)
午後7時30分～
会場：才東集会所(川上)

出席議員：◎築澤 敏夫
3班 ○氏平 篤正
岩本 壯八
小田 康文
柿本 健治
庄司 史郎



開催日時：7月4日(木)
午後7時～
会場：北房文化センター
研修室

出席議員：◎原 秀樹
2班 ○妹尾 智之
大月 説子
緒形 尚
谷本 彰良
中元 唯資

開催日時：7月4日(木)
午後7時～
会場：蒜山振興局大会議室

出席議員：◎入澤 廣成
1班 ○福井 莊助
河部 辰夫
古南 源二
柴田 正志
竹原 茂三

開催日時：7月5日(金)
午後7時～
会場：八幡公民館

出席議員：◎入澤 廣成
1班 ○福井 莊助
河部 辰夫
古南 源二
柴田 正志
竹原 茂三

開催日時：7月5日(金)
午後7時～
会場：富原公民館

出席議員：◎原 秀樹
2班 ○妹尾 智之
大月 説子
緒形 尚
谷本 彰良
中元 唯資

総務常任委員会

本委員会では、12月13日及び2月8日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《総合政策部》

■高等教育機関の立地可能性を調査
若者定住を目指し、新規事業として真庭の地域資源や立地条件にあった高等教育機関等の立地可能性についての調査をする「真庭市の特性を踏まえた高等教育機関等立地可能性調査事業」を行うとの説明がありました。

■地域による空き家調査を支援

協働のまちづくり推進事業（地域による空き家調査補助金）は、地域自主組織等が主体となり、空き家調査を実施した場合、補助金を交付するものです。地域の中にどの程度空き家があるのか住民が実感し、地域で空き家問題を真剣に考える機会をつくり、空き家の予防と有効活用を検討していくとのことです。

Q 空き家調査補助金は単年度のものか。継続するものか。調査しない組織に対してはどうするのか。

A まず意欲のあるところにおいて、いし、事業を進めていく。来年度以降は状況に応じて検討していく。多くの組織に取り組んでいただくよう丁寧に説明する。

■首都圏からの移住を推進

首都圏から真庭市に移住し、市内の中小企業へ就職した者へ補助金を交付するものです。対象者は東京23区に5年以上居住し、岡山県が開設する就業支援マッチングサイトを經由して真庭市の企業に就職した者で補助金額は100万円とのことです。

Q 東京一極集中を是正するための国主導の政策では。他地域から人を呼び込む独自の施策はあるか。

A この制度は、元々は国の事業ではあるが、太田市長が国に対して提言し、実現した事業である。人口減少対策は、空き家調査を含め、地域が力をつけていくことが重要だと考えている。

《危機管理課》

■地域防災説明会を開催

平成30年10月から12月にかけて、蒜山から北房まで20回地域防災説明

成夫正子良樹助恵
廣敏篤説彰秀莊久
澤澤平月本 井本
入築氏大谷原福山
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員
委員長 委員 委員

会を開催し、延べ994人の参加を頂きました。①自主防災組織の設立②自主防災組織の強化③個別避難計画書づくり④指定緊急避難場所の見直しの4つのテーマで課題の抽出を行いました。

説明会での主な課題としては、

(1)「地域内の様々な組織との連絡体制が必要」民生委員、消防団、消防署等。(2)「危機感が無い」地域の関心が薄い、災害経験が無く設立意識が低い。(3)「避難場所の見直しが必要」(4)「リーダーがいらない」高齢化が問題、防災リーダーが必要。(5)「個別避難計画を作成する上で、個人情報取り扱いが分からない」その他では、自治会長が短期で交代すること、組織内の自治会ごとで防災意識に差がある等多くの意見があったとのこと。

今後の取り組みとして小学校単位を基本とした、自主防災組織連絡協議会で、課題解決に向けた協議を引き続き行います。個別避難計画の策定を自主防災組織と協働で行うこと



2月3日に開催された「みんなで防災in真庭」 勝山文化センター

としていますが、結成率が現状7割程度であることから、地域自主組織へも働きかけていきます。

Q 個別支援計画について、要支援1,2、介護認定を受けた方はケアマネージャーが情報を持っている。連携はどうか。

A 個別支援計画は自主防災組織に策定の協力を頂き、各校区の連絡協議会の場において、ケアマネージャー、社協、警察、消防団、民生委員等と協議の中で進めていきたい。

文教厚生常任委員会

本委員会では12月17日、1月29日、2月8日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《教育委員会》

■給食費会計の公平・透明化に向けて
学校給食費は学校給食法の規定により、学校給食を受ける児童・生徒の保護者が負担することになっていきます。

現在真庭市は、学校または調理場が保護者から集金して、これを食料業者に支払う「私会計」方式であることから、事務負担や管理の不透明さといった課題に適切に対応するため、市の予算として取り扱う「公会計」化に向けた準備を進めていることの説明がありました。

来年4月から公会計に移行するにあたり、今年度から給食費は市内統一額となっています。（一食あたり小学校270円・中学校310円）

Q 滞納した場合の対応は。子どもが給食を食べられないという事態にならないような配慮はあるのか。

A 経済的に払えない場合は、就学援助や児童手当からの徴収や、福祉部門との連携等の対策を考えている。

《生活環境部》

■スポーツ振興の新たな体制づくり
平成28年策定の「真庭市スポーツ振興ビジョン」に掲げる理念等を実現するための具体的な方針が示されました。

真庭市全体のスポーツ振興に向けた新体制構築のため、おちあい振興公社を市のスポーツ振興を目的とした公益法人に改組し、関係団体の連携を強化するとともに、南部を中心とした市全体の施設管理と市内全域のスポーツ振興を担う体制づくりを進めていくことについて説明がありました。

Q 公益法人化のメリットは。

A 元々行ってきたスポーツ振興や公共施設の管理といった公益性がある事業をより実施しやすくなる上、財団法人としての体制を整備することですっかりとした組織をもって運営していくことができる。

《健康福祉部》

■共に働く機会が広がるように
障がい者の就業面・生活面での一体的な支援を行う「障害者就業・生活支援センター」の真庭地域への早



誰でも気軽に楽しめるスポーツ体験イベント「真庭フレンドパーク」

治尚輔二之三勝則
健陽源智茂一
本形崎南尾原本島
柿緒岡古妹竹初福
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員
委員長 委員長 委員

期設置につなげていくため、今年度から、地域ぐるみで障がい者の雇用機会の拡大を図る新たな取り組みが始まります。

市内には、障害者雇用の法定義務を課せられていない雇用者数45人未満の事業所が多いため、そうした中小企業や農業経営者に対しても広く障がいへの理解を促進し、連携体制づくりを進めることで、就労しやすい環境づくりや新たな就労機会の創出を目指していくとの説明を受けました。

委員からは、「議会から市へ政策提言を行った『障がい者の就労支援』に向けた取り組みのひとつと考える」という意見がありました。

■生きることの支援としての取り組み

国が定める「自殺総合対策大綱」の基本理念をふまえ、地域レベルでの実践的な取り組みを行うため、「輝く命 輝く地域 輝く真庭」をコンセプトに「だれも自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指して策定を進めている「真庭市自殺対策計画」について説明がありました。委員会では、相談窓口の体制や孤立化の問題、地域の関わり方や居場所づくりの課題等について意見を交わし、執行部に対して、計画を実効性のあるものとして推進していくよう求めました。

産業建設常任委員会

本委員会では、12月14日及び2月12日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■液肥農業利用は8千t

液肥の製造と活用計画について説明がありました。生ごみ等資源化施設のフル稼働（2029年度）を想定した数値では、製造される液肥が約8千tに対し、市民向けのミニタックで約4千t、蒜山、落合・久世、北房地域での水稲で約4千tを農業利用する計画です。点在した圃場では散布効率が落ちるため、集落営農の組織化や農地集積を今後5年間で進めていきたいとのことでした。

■ヨーグルトサミットが真庭で開催

昨年10月に茨城県小美玉市で初めて開催された全国ヨーグルトサミットが、第2回として真庭市で開催されることになりました。ご当地ヨーグルトの知名度向上、牛乳・乳製品の消費拡大、参加者との交流を通じて真庭市の魅力発信等を目的に、9月末の「海の市・山の市」と合同で開催されます。



初めて開催されたヨーグルトサミット 茨城県小美玉市

■蒜山高原の新たな観光拠点に

真庭市と三菱地所株式会社、限研吾建築都市設計事務所が共同で取り組む事業で、三菱地所が事業主となり、東京・晴海の選手村近くの土地に限研吾事務所のデザイン監修のもと、真庭市産のCLT材を使用した施設が建築され、オリンピック終了後に蒜山地域に移築されます。

夫郎 八文志 修雄 資
辰史 壯康正 哲唯
部司 本田 尾尾 元
河庄 岩小 柴長 中
委員長 員員員員員
委員長 員員員員員
委員長 員員員員員

現在落ち込んでいる真庭市、特に蒜山高原の観光振興、インバウンド効果、滞在型観光客増による地域経済への寄与などを目的に、ビクターセンターや美術ギャラリー、レストラン喫茶などの休憩、地元産品販売、サイクリングターミナル等が検討されています。東京からの移築費用は15～16億円、補助金等を除いた市の実質負担は約5億円を見込んでいるとのことでした。

経過としては、11月初めに話があり、12月初めまでは費用の点で折り合えなかったが、最終的に1月25日に事業を実施する判断をした。2月14日の記者会見までに情報が漏れると本体事業に影響が及ぶため、議会に協議・報告ができなかった。大変に心苦しいが、ぜひご理解いただきたいとの説明でした。

Q 情報管理はわかるが、大きな経費が十分回収される見通しがあるならともかく、まだ計画もない段階で事業を決めてしまつて、マスコミ発表す

る既成事実をつくるようだったら議会には必要なのではないか。企業がすべきことを行政が前面に出て行わなければならないのか。蒜山の景観に合うのか。

A 議会との情報共有や意見交換をもとに進めるべきで、施設が将来にわたつて蒜山、真庭の観光に大きく寄与するために、経済効果など今後調査や計画していく。

《湯原振興局》

■湯本・足温泉館の開館時間を短縮

平成19年からの累積赤字額は、湯本温泉館が1,500万円、足温泉館が5,270万円で、配湯事業の収益から補てんしている状況。早期に経営改善が必要で、お客が少ない時間帯を閉館し、開館時間を短縮して、人件費や光熱水費を削減していくとのことでした。

Q 開館時間短縮による経費削減効果はいくらか。入浴が無料となる湯株の対象者について、未来永劫無料なのか、市になって何年も経つ中で一定料金はいたたくべきであり、改善すべきと思うが。

A 平成29年度決算ベースで試算すると、湯本温泉館で350万円、足温泉館で200万円程度、収支が改善する見込み。旧湯株主は、湯本温泉館で20世帯、足温泉館は12世帯であり、今後対応について検討していく。



真庭市議会 3月定例会

一

般

質

問

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています。

会派代表質問

未来代表
柿本健治



合併の総括を伺う

合併15年を迎えるが、人口は15%減少、財政状況は、基金残高274億円と大きく改善した。住民の生活環境がどの様に変化したか総括を行うべきと考える。

答 太田市長

15年を迎え議員・市民の方に意見を出して頂き次に向かって進んでいきたい。

問

人口減少社会と住民自治

まちづくり委員会が主体となつて防災減災、介護予防

など地域共同業務を担う仕組みを作るとされているが、現行制度との関係を伺う。

答 太田市長

地域を維持していくため旧小学校単位の小さな拠点をつくり、地域集落支援員等のサポーターも入れて支援していく。

問

真庭市コミュニティバスは、交通空白地域の足確保策として極めて重要と考える。損得だけで議論すべきではなく、地域の特性を生かしながら移動手段を確保すべき。

答 太田市長

地域における足の確保は重要であつて損得だけで議論する気はない。交通不便地域における公共交通の利用範囲を拡大して足を確保し赤字削減も出来ないか考える。

問

公の施設の設置運営

北房地区の放課後児童クラブとして利用している施設の条例などの整理はどの様になっているか。学童保育支援策は議会も政策提言したところであり施設整備にあつては、市内全域を念頭に置いた整備が必要と考える。

答 太田市長

北房の施設は、学校施設と一体的に出来ないか調整を行っている。学校施設を積極的に活用していく基本方針を決めて教育委員会と連携しながら場所の確保に努める。



美甘地区森林整備

問

消費税の増税対応

① 幼児教育・保育の無償化実施に伴いマンパワーの確保は大丈夫か。

② プレミアム商品券発行やポイント還元策実施により通常業務に支障が及ぶのではないかの確保策を問う。

答 太田市長

① 確保策として保育士資

問

農林業対策の充実を

① 森林経営管理法に基づく計画策定事務に従事する専門職員の確保は。

② 昨年7月の豪雨災害は、広範で膨大なため復旧には時間を要するが、今春の農作業がスムーズに行えるよう努力を求めたい。

③ 猿によるブドウ等果樹の被害が深刻になっており、早急な対応が求められる。

答 太田市長

① 専門的な人材は不足している。県の森林経営管理制度推進人材バンク、国の森林制度の活用で人材確保を行う。

② 農繁期に向けて1件でも多くの復旧に努める。

③ 捕獲金2万円で捕獲に努める。

真和会代表
柴田 正志

問



今後の大規模災害
に向けて

①災害箇所への復旧工事の進捗状況を一元管理し、市民の問合せに振興局、本庁と担当部署の職員なら誰でもすぐに答えられるような仕組みづくりができないか。

②インフラ整備の考え方も壊れてから直すという考え方から予防防災の観点か



豪雨の爪痕 富原小学校前

①災害復旧事業の進捗状況はファイルで管理しており、それを共有していくようシステムを変えていきたい。県の方でも情報をもとに市が言えばすぐに答えられるような体制を作るよう要望する。

②被害規模が小さいうちに修繕を行うのは重要な予防防災である

ら河川・市道・法面など引き続き細かい修繕ができないか。

③7月豪雨において治山堰堤が土砂で埋まって機能しなくなり道路や田に土砂が入り込むといった被害が出ている。治山堰堤の浚渫が有効か、他に方法があるのかを専門家に調査を依頼し何らかの対策ができないか伺う。

答 太田市長

①市民誰もが参加できるこの制度を大事に育てて欲しい。どのようにこの事業を進めるのか。

②市民の健康度を上げるために日頃のスポーツ活動にポイントを付与する仕組みができないか伺う。

答 太田市長

①20歳以上の市民を対象として特定検診、人間ドック、各種がん検診の受診と、市が主催する健康づくりやスポーツイベントの参加者にポイントを付与し、ポイントが一定に達すればふるさと産品と交換できるというものである。

②これから始めることであり、経過を見ながら改善、改良をしていきたいと思っている。

問

障害者雇用機会
拡大事業

2020年度に、障害者就業・生活支援センターを設置する方向で、県と協議を進めるとなっている。具体的にどういった事業内容を計画しているのか伺う。

答 太田市長

常用雇用者が45名未満には障がい者雇用の法定義務はない。そういうところも含めて、農業経営者にも理解をいただき、いろんなところで雇用ができるような地域ぐるみの障がい者雇用の機会を作っていく、温かい地域を作っていく。SDGsを一言で言えば、誰一人取り残さない世界を作っていくことで、それが理念である。その理念を大事にしなから、現実にあるいろいろな課題を、すぐにはできないこともたくさんあるが、克服していくという考えである。

森真会代表
庄司 史郎



問

市長の政治姿勢を
問う

この度の晴海プロジェクトの進め方については、市長も認めているように、手続き上の問題がある。議会に一切の説明、報告もなく押し進めたことは、不適切な対応だったと言わざるを得ない。議会をどのように捉えているのか伺う。

答 太田市長

行政においては施策の実行におけるプロセスも大事である。プロセスをないがしろにすれば、誰が、どこで、どのようにして物事が決まっていって行くことになったかわからず、市民に対して説明責任が果たせなくなる。行政施策の実行プロセスについてどのように考えているのか伺う。

今から思うと、結果としてもう少し何かお伝えする方法がなかったのか、記者発表の場で感じたが、三菱地所側の総事業費がいくらかとい

う記者の問いに社長は答えなかった。いろんな事情があり、あつ！という思いをした。こういう場合にどういうふうにしていけばいいのか、本当にどうしていったらいいのかということ、重く受けとめている。

執行機関と議決機関の關係において二元代表制を円滑にきちつとやっていくというのが当然である。自分の意志としては、常にそういうふうに心がけてきたつもりである。

問

障がい者の就労支援の具体策は



東京・晴海に設置されるパビリオン棟（イメージ）

2020年度に障害者就業・生活支援センターを真庭圏域に設置する方向で県と協議を進めている。来年度はその準備として地元企業等と連携して、障がい者の就労を支援していくとのことであるが、具体的にはどのようなことを考えているか伺う。

答 太田市長

400万円の障害者雇用機会拡大事業の予算を計上している。具体的な内容となると難しいが、職員採用において障がい者枠を設けている。職員全体の理解も必要であり、職員を対象に研修会をやっている。福祉作業所に市の管

理業務のうちでできるものを委託し、就労訓練もやっていただいている。

問

高等教育機関等の立地可能性調査

真庭市の特性を生かした高等教育機関等の立地の可能性について調査したいとのことだが、市の特性をどう捉えているか、調査はどのような方法で行うのか、具体的な考えがあるのか伺う。

答 太田市長

高等教育機関といえば大学だが、何か学科を置いてもらうとか、専門学校、外国人材の教育機関とか、さまざまな意味の教育機関を検討できないか、あくまで立地の可能性調査ということである。実績のある専門調査機関に委託して、専門的なことだとか、データだとかを出してもらい議論をする。ただ、非常に生産年齢人口が減る中で、交通不便地で、その難しさというのを率直に申し上げておく。

問

みんなの会代表
原 秀樹



みまもりタグの貸与を開始

市では、平成29年度以降行方不明者が8名で、生存率は37.5%程度の状況である。事前に発見された件数も含めると相当数になる。今後対象者は増加する状況で、市は徘徊者の位置情報把握対策として、県下で初めてみまもりタグの貸与を開始した。早期発見に繋がる有効な手段と考える。

ただし、電波の届く範囲が30mと狭いため、対策として市職員・消防団・自主組織・

答 太田市長

見守りネットに284、SOSネットに598事業所が登録して戴いている。みまもりタグで、本人の命を守り、ご家族・消防団等の負担を軽減したいと考える。キャラバンメイトやサポーターの皆さんの協力を得て、より生きていくツールにしたい。



対象者に貸与するみまもりタグ

問

共助による地域の
“あし”構築事業を
開始

まにわくんの公費負担は1億円を超えており、その内枝線が7千万円の状況。枝線は利用者の減少が大きな要因であり、運行需要と利用者のニーズに乖離がある。市民に満足戴ける交通システムの構築は行政として重要な施策である。提案として、自宅から幹線のバス停までの運行をNPOや地域団体で行い、行政も支援する体制を構築すべきでは。NPOや地域団体が立ち上げやすく、活動しやすい環境整備や条件整備に力を入れ、市内全域に拡大できる政策が必要では。見解を伺う。

答 太田市長

事業者、利用者、運輸支局の関係者が公共交通会議で福祉の向上を目指し検討している。常に市民ファーストで行っている。生活交通バス運行支援制度やNPO等は、真庭市共助による市民の“あし”確保支援制度等で、公

公共交通不便地の生活交通確保に補助金を出すことを考えている。

問

高等教育機関等立
地可能性調査事業
の開始

真庭地域の地域資源や立地条件にあつた多様な高等教育機関、外国人材の教育機関の立地可能性等調査し、真庭で学びたい・学ばせたいという想いに応えまちに賑わいをもたらしすことを目的としている。

定住・移住・交流人口・関係人口に大きく貢献する事業と高く評価する。例えば、蒜山に馬術や林業に特化した市立の高等学校等も視野に議論・調査を進めて戴きたい。不返転の決意で臨んで戴きたい。見解を伺う。

答 太田市長

ある意味ではハードルは高いが挑戦していく。県立高校が多い中、基礎自治体はどう入り込むのか文科省に議論しようと呼び起している。大きな課題はあるが、前向きに頑張っていく。

問

住民の危機管理の
認識向上

緑真会代表
河部辰夫



自主防災組織と地域防災力の強化に取り組んでいくとあるが、問題は住民にその認識を植えつけることを優先していかないと、天災・地変に即応できないと思うが、この組織が有効に作用するための手段方法はあるのか。

答 太田市長

指摘のとおり、防災力の基本は自分の身は自分で守る自助、そしてその地域協力で守る共助というのが非常に重要だ。その中で自主防災組織が要である。連絡協議会で情報共有、学び合いながら自分の所に合わせた自主防災組織が充実するよう頑張っていくことである。

問

魅力ある観光資源
とは

全国的にインバウンドが

取り上げられているが真庭というより岡山県全体が沈んでいる中で通り一遍のPR作戦でなく、魅力ある観光資源は何かを真剣に取り組まないで観光の再生はおぼつかないという見方が。

答 太田市長

真庭には多様性がある。その多様性をうまくつかみながらインバウンドも含めて魅力ある観光地にしていきたい。蒜山プロジェクトもその一環である。

問

水質の浄化を考える

早急に水質浄化の施策を実行に移すべき時期と思う。例えば水量を増やすための水源涵養林を強力に推し進めること、また岡山市との連携も視野に入れて旭川をきれいにする形をとつたらどうか。

答 太田市長

水質の浄化だが、その川の水量とか水質には森林が大きく関わっている。



林業の現場 美甘地区

そういう意味での森林の水源涵養機能というのは非常に大事である。今は真庭の森林の6割が人工林であるが、今後採算の合わないところは環境林と混合林にしていくことで、豊かな森林をもう一度作り直していくと、今以上に豊かな森林を作っていく。そういう中で森林管

理法が施行される。

経済林化して本来に採算が合う所は路網整理をして採算が合うようなことをやっていき、採算が合わない条件の悪い所は環境林としていくことで頑張っていく。

問

英語教育の推進

学校運営協議会を設立し、学校を核として地域の学びの場をつくり進めていくという。英語教育国際理解については、グローバル社会を力強く生き抜く基礎となる英語教育を十分充実させるため、英語の4技能、聞く・読む・書く・話す検定を小・中学校で来年度から実施するとしている。学力問題は子どもにとって将来を占う最大のポイントである。

答

三ツ教育長

小学校では2020年度より英語が教科化される。現在はまだ教科としては実施していない。コミュニケーション活動の素地を養うということとで外国語活動を実施している。

個人質問

中尾 哲雄



問

市長の行政姿勢

全国市長会の欧州都市行政調査に太田市長が団長として参加。その視察に、フジテレビ報道局のディレクターが追跡取材され、内容が放送された。市長の報告書の内容と市民が見ていたテレビの内容が乖離している



今年度中に撤去される目木構

と市民の声が入ってくる。視察が真庭市にどう活かされるのか、調査の真の目的は何だったのか伺う。

答

太田市長

北欧は高福祉、高負担ではあるが、国連の調査で幸福度がデンマークが1番、3番にフィンランドと北欧が高い。真庭を見ると真庭だけ見るのではなく、世界の中から真庭を見る。まさにSDGsだ。テレビが放映したことで、真庭市長という公職の者が侮辱されていると思っている。今回の成果を教育関係にひとつ生かす。

問

晴海プロジェクト

CLT晴海プロジェクトについて、市民も議会も誰も理解していない事業をなぜ秘密裏に運ぼうとしたのか。誰がどこで決めたのか伺う。

答

太田市長

三菱地所は記者会見でも総事業費を言わなかった。1つの外交みたいなもの。これを議会軽視と言われると私も重く受

け止めるが、議会に対して本当に真剣に対応してきた。

問

目木構を考える

貴重な文化財の解体費1,250万円を盛り込んだ新年度予算が上程され、地元市民への十分な説明がないまま解体が決定となり次の質問をする。

①市が中心となって再考の意思があるか。

②行政が積極的に有効活用の議論をしたのか。

③正副会長不在のもとで指定解除の答申がなされたと聞く。

④郷土学習の場が失われ損失となる。

答

三ツ教育長

①土地所有者から明確な意向が示された。

②郷育、教育で進めている。

③問題ないと認識。

④郷土学習の機運を高める。

傍聴される方は4階へ

真庭市議会の本会議・委員会を間近で傍聴してみませんか。議会広報の紙面では、お伝えできない議員の生の活動が伝わってきます。

傍聴を希望される方は、議会開会中に真庭市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席用意しています。

また、本会議の様子は真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。



3月定例会の様子

谷本 彰良

問

旭川の陸間は大丈夫か



平成30年7月豪雨の検証記事で陸間の問題が取り上げられていたが、市内にも久世・落合に多数存在する。かつては陸間を閉じるための資材があつたが、現在は確認できない。堤防は県の管理だが県と地元住民に任せきりにするのか市の取組を伺う。また、消防機庫と集会所に土嚢ステーションの設置と、落合垂水の馬乗橋付近の国道に、陸間の設置は出来ないか。

答 太田市長

平成30年7月豪雨を受けて県は、市内35カ所の陸間施設について、緊急時の操作実施者の把握、修繕、廃止などの適正化に取り組んでいる。法界寺地区と中島地区では地元自治会との協議が進んでいる。責任は県にあるが県と密接に連絡を取り合い、地元との調整役として立ち会



幅7メートルの旭川の陸間 久世地区

いや情報を共有して、陸間の開閉管理を地元でして貰えるように、必要な支援を行っていききたい。

答 松尾危機管理監

土嚢及び袋は消防機庫にストックしていく。落合垂水の上町に大型の門を設置するには、国道に面しており難しい問題もあるが県に上げていきたい。

問

コンサートで全国にPRを

地域エネルギー自給率100%を目指している真庭市だが、代替電力や環境プロジェクトなど持続可能な社会を

創るための活動を行っているapbankの音楽イベントapbank fesの誘致は出来ないか。

答 太田市長

エネルギーの地産地消は魅力ある地域づくりの大きな手段であり頑張っている。apbankと方向性は同じであり、一緒にやりたい。とがあれば一緒にやりたい。各種団体含めて協力をして、真庭を全国にPRしていき、市民の理解も得て、地産地消エネルギー100%の真庭を目指していきたい。

岡崎 陽輔



問

CLT晴海プロジェクトは唐突、市民に全容の説明を

市民代表の議会全体への説明が東京での発表と同時に進行で行われる異例の事態となった。寝耳に水、唐突で無謀なやり方だ。

①全容を明らかにされた
②協定書、契約書、覚書、
念書等一切他にないのか。③

三菱地所の事業費は公開されていないが、真庭市の負担は15から16億と断言されている。再利用で、隈研吾氏で、16億が高いのか安いのか分らない。これで本当に終わるのか。その根拠を示してほしい。④交渉事とはいえ、なぜ情報統制し、秘密にする必要があつたのか。⑤移築後蒜山等の滞在型の観光資源、地域活性化の起爆剤にしたいというが、本当にそうなるのか。⑥広い市民の公益性や利益のために事業をやるのであれば、事前に方針説明し合意形成の努力が必要だった。そうしたことを怠り省いた。市民に情報を与え、こういった点を含めて議会は判断する必要がある。必要な実証的な資料提出を求める。

答 太田市長

①真庭産の木材と真庭でCLTにしたものを使って建築物を創る。東京オリンピック後は、蒜山に移築する。真庭の行う事業に、三菱地所は企業版ふるさと納税を活用し財政支援する。真庭市は事業推進に地方創生交付金を活用する。②協定書、

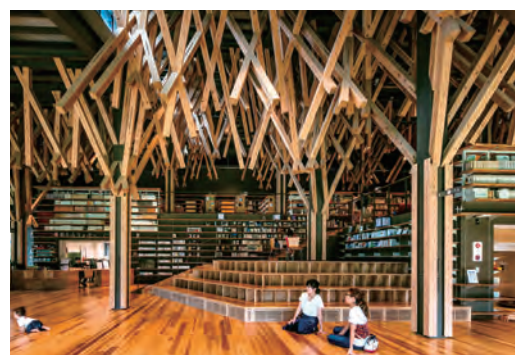


Photo Credit: Kawasumi Kobayashi Kenji Photograph Office
隈研吾氏設計ゆすら雲の上の図書館

契約書、覚書、念書等書類は一切ない。今後は覚書の方向で三菱地所と調整し議会に示したい。③数字の根拠は、三菱地所と話をし、大体これぐらいになると出している。本体は移送費を含めて15から16億円である。④情報統制は、本当に悩んだ私が判断した。確かに唐突、えつとなるのは当然だ。いいことだというのがちよつと先行しすぎた。⑤観光の起爆剤にという点は、わんさか人がくることにはならないが、限氏の建築を認める建築ファン、メディア、世界の方々から注目される質の高い、観光ということが出来る。⑥資料は出来る限りのものは提供する。

小田 康文

問

足温泉館は、ずっと赤字で5,400万円の累積赤字



産業建設常任委員会に、足温泉館の経営改善策が示された。初めて対応策が示された点は評価したいと思う。そこで次の通り尋ねる。

① 足温泉館の累積赤字額は幾らか。

② 開館時間短縮の収支改善効果額はいくらか。

③ 無償でこの施設を利用



収支改善が求められる足温泉館

できる者がいると聞いている。有償利用の場合の売上見込み額はいくらか。

④ 泉源の権利及び施設を地元に再譲渡するという考えはないか。

⑤ 赤字決算でも真庭市が施設を維持し続けるのか。

答 太田市長

① 単式会計でやっているが年々赤字が増大している。足温泉館は、合併以来ずっと赤字であり5,400万円の累積赤字がある。

② 足温泉館は営業時間を4時間短縮することで年間210万円の赤字が削減できる。

③ 足温泉館は、湯株主が12世帯あつて、平均すれば1世帯23人ほどが無償で利用している。利用料金に換算すれば年間約250万円に相当する。かつて湯原温泉の泉源は、湯株主で管理されていたが昭和9年の大水で温泉場が流され10年に村営とした際、湯株主から権利の無償譲渡があつた。その時の契約書に寄附者一族並びに外来の親族に対しては無償入浴たることと言う条項があるので、施設を無償で利用する権利が

当然今でもある。

④ 契約書に所有権を他に移転する時は、期間を問わず、必ず寄附者に対し現状のまま無償にて返還するという条項があるから第三者には譲渡できない。また湯株主の了解を得るのは実質的に不可能である。

⑤ 営業をやめることはできても、湯株主の入浴を断ることはできない。閉館することができない以上、前向きにどう赤字を減らしていくかということに努める以外ないと考えている。

大月 説子

問



生ゴミの資源化事業の成功の力ぎは市民の意識改革

昨年プラント設置の候補地を決定し、今年度は候補地の地質調査から設計の段階に入る。しかし、ハード面の施策が先行して、市民の生ゴミの資源化に対する意識を改革する施策が遅れているように思うが今後の方針を伺う。

答 太田市長

臭いは決してなくなることはないが、発酵熟度を上げるように研究する。この8年間で330回の環境学習を行ってきた。今後も事実関係をきちんと出して市民のご意見を頂くことが必要だと思っている。

答 有元 生活環境部長

地域環境圏・エコタウン事業ということで、市民や事業所を対象にアンケート調査を実施している。その中で、意識の変化や取り組み状況が明らかにになるので、詳細な分析をしたうえでフィードバックしていく。

問

真庭市の健康寿命の延伸を

高齢化が進んでいる真庭市では、健康寿命の延伸が近々の課題である。そこで①真庭市の平均寿命と健康寿命②健康寿命を延ばすための取り組み③市民へのフィードバックについての方針を伺う。

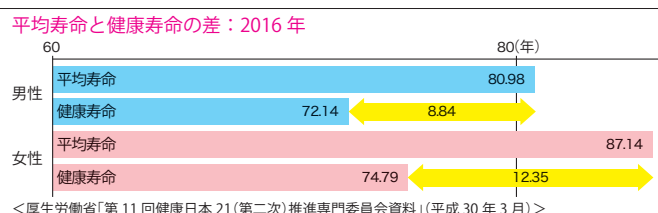
答

太田市長

真庭市では、日常生活動作が自立している期間の平均を健康期間とし算出したところ、男性の平均寿命は80歳で健康寿命は78・24歳、女性は平均寿命88・3歳で健康寿命は84・4歳であった。高齢者に対しては、特定健康診査、後期高齢者の健診、がん検診を勧めて疾病予防に取り組み、データ化して市民に返していく。

答 上島健康福祉部長

第7期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時の介護・介助の必要性の調査では、サービスの利用はどのも同じ傾向であった。健康教室、一般介護予防等の事業の参加者を向上させ、数字をアップできるような形で計画している。



緒形 尚

問

観光地域づくりは重要な施策



答 太田市長

地域資源を観光に活かす観光地域づくりがある。幅広い関係者によって多様な地域資源を活用しながら、観光を軸とした地域づくりを行うことであり、地域の人々と来訪者が触れ合う場が提供され、地域の応援団を増やしていく取り組みである。

今後ますます観光地域づくりには大きな期待が寄せられ、重要な施策になる。そこで2点伺う。①観光地域づくり推進に向けた観光局の戦略や状況②国際化推進室と観光局の役割



台湾の観光地 九份

喜ばしいが、長時間保育により親の後ろ姿を見て育つ時間が奪われてしまっているのか。園での教育・保育についての指導はどのように行われているのか。子ども

子どもが真ん中の教育・保育のために

問

②国際化推進室が知恵袋であり、政策を打ちながら、実践を観光局がやっていく。2つが連携して真庭全体の観光事業を活発にしていこう。

保育料無償化により、誰もが等しく教育されることは

が真ん中の教育・保育のためにどのような施策に取り組んでいるのか伺う。

答 太田市長

家庭や地域の中で子ども自身が大切な存在であることを実感できる子育て、教育環境づくりが大事だ。子育て支援とは、決して保護者の育児の肩がわりをするのではない。保護者が自己肯定感を持ちながら子育てを行って、子育ての権利を享受することが可能となるような支援をしていきたい。

岩本 壯八

問



高齢者への特殊詐欺防止対策を

不特定多数の相手にうその電話で金銭をだまし取る特殊詐欺。認知件数は、全国で平成22年以降7年連続増加したが、平成30年は減少。平成30年の被害額は約357億円、一日約1億円近い。件数・被害額ともに高水準で推移し、深刻な状況。真庭署管内では、平成29年の認知件数

は9件、被害額は634万円、平成30年は2件で被害額は約765万円。件数は減ったが、被害金額は逆に増えた。手口も多種多様化・巧妙化し、未だ多くの被害が発生している。特殊詐欺全体で被害者となる高齢者は認知件数の78%を占め、高齢者の被害防止が大きな課題。被害に遭うのは固定電話が多いことから、会話が自動録音される自動録音機、詐欺等に使用された電話番号約3万件が登録され、この番号からの電話には着信音が鳴らない自動着信拒否装置が有効。機器を無償で貸出し、高齢者被害の未然防止に取り組むべきだ。

答 太田市長

県内で導入しているところが3つある。もう少し効果を含めて調査をしたい。

問

公共工事の平準化への取り組み

土木建設事業者は全国的に平成12年から3割近くが減少し、全ての都道府県で減少。従業者数も平成7年から



動き出した民家の災害復旧工事 山久世地区

減少し続け、高齢化も進み将来的にも減少する予測。受注機会の変動が大きく施工時期や工期が平準化してないため、計画的な人員確保や従業者の処遇改善、機械の保有ができない状況。発注側の行政も発注・工期が集中し、入札不調や不落が発生する頻度も多く、事務作業も期間的に集中。年度内の工事量の偏りを解消し、年間を通じて工事量が安定する公共事業平準化が求められているが、市の取り組み状況は。

答 太田市長

制度のあらゆるものを使い、年間を通じて工事量の分散化を図るよう努めたい。

古南 源二

問

奨学金返済支援制度は出来ないか

日本学生支援機構によると、返済負担が重くのしかかる人も多い。真庭市の人口増加と人材確保のために就職した企業と行政が奨学金の返済の一部を補助し、未来永劫の発展のために奨学金返済支援制度はどうか。



真庭市の奨学金 減免制度もお知らせ

真庭市の奨学金を借りて真庭市に帰って就職した方は、借りた額の半額は返済免除になっている。奨学金制度の要件緩和をして、より多くの方に利用して知識を高めていただき、多様な人材を社

会に送り出し、持続可能な真庭市の形成を目指してはいかがか。

答 太田市長

真庭市医師会では、真庭高校の看護科、専攻科の学生が医師会認定の市内医療機関に就職した場合返還免除制度がある。医療関係への就職もこのままいくと急激に不足してくる。この制度をもう少し拡充、要件緩和し、真庭市も参加して充実できないか話をしている。人材育成10億円基金を作っている。

人材確保に関してお金を惜しむ気は全くない。いろんな奨学金があるが、貸与ではだめだと思う。起業も個々には一生懸命だが、人材確保を一緒にやっていき、より効果的な奨学金制度を含め、帰って来ようというインセンティブになるよう、積極的にいろいろな事を考えて制度を考えたい。

答 三ツ教育長

真庭市の奨学金は人生の選択肢を増やしてその人を応援するもの。高校の無償化、寄付型の奨学金制も充実

も進んでいる。要件緩和は社会の動向を見守りながら考える。

奨学金の必要な学生が返還の負担感を軽くして奨学金の申請が遠慮なく出来るように募集要項で、定住促進減免制度の周知を図っている。それに加え、来年度から市外在住の貸し付けを受けている方、返還を行っている方に真庭市企業ガイド、津山広域企業ガイドを減免制度の説明と一緒に郵送し、真庭市での就業を促し、減免制度の活用促進を図っていく。

妹尾 智之



問

新生児の聴覚スクリーニング検査

①この検査の実施可能な医療機関は何施設あるか伺う。
②直近の出生数と初回検査実施率を伺う。

③検査結果は全て把握されているか伺う。
④検査を受けていない子どもに対する対策を伺う。

⑤公費負担について当市の考えを伺う。

答 太田市長

①岡山県内に35カ所、広島県に9カ所、鳥取県5カ所の計49カ所の医療機関でこの検査を受けるようになっていく。

②直近の出生者、平成29年度の出生数は292人で、検査の実施率は100%である。

③実施医療機関が母子手帳に記入し、保健師が行う新生児訪問の際に全数を把握し掌握している。

④平成29年度は100%受診できているが、受診をしていない子どもが発生した場合には、保健師による新生児訪



子ども防災手帳(尾張旭市)

問で外来受診や検査を実施している機関を紹介をする。

⑤新生児1人2回を限度に1回当たり2分の1の公費負担をしている。

問

子ども防災手帳

子どもの防災意識を高めるために子ども防災手帳を活用してはどうか。子ども防災手帳の効果と作成について災害対策の観点から、市長に伺う。防災教育を進めるための教材として教育長に伺う。

答 太田市長

岡山県では、小学生のための防災ハンドブック「ももたろうの防災」というクイズを盛り込んだパンフレットを作成している。重ねてやるということもどうかと思う。

答 三ツ教育長

子ども防災手帳は、発達段階に応じ、汎用性が高いものだと思う。岡山県の防災ハンドブック、ももたろうの防災リーフレット、あわせて情報は学校に提供して学級活動等への活用呼びかける。

河野慶治県議2期目の当選！

真庭市・真庭郡選挙区(定数1)は河野候補の他に立候補がなく無投票で当選が決まりました。河野県議は、資源や魅力あふれる人材が豊富な真庭圏域の



可能性をさらに活かすため、市町村との連携はもちろんのこと、圏域皆さまの声を県政に反映させるべく現場主義で取り組む決意をされました。

祝 真庭市表彰 当日は9人が出席

3月26日、市役所3階で平成30年度真庭市表彰及び感謝状の贈呈がありました。今年の受賞者は次の皆さんです。おめでとうございます。

原田昂治、田中克幸、磯田弥那、岡田佳奈、長尾駿一郎、蒜山クラブ、実原俊一、野村昌子、松本高明、㈱エイチケイ商会、ひるぜんワイン(有)、岡山県真庭地区猟友会、石原宏明、㈱イシンホールディングス 敬称略



旭川・りんくるライン完成を祝う



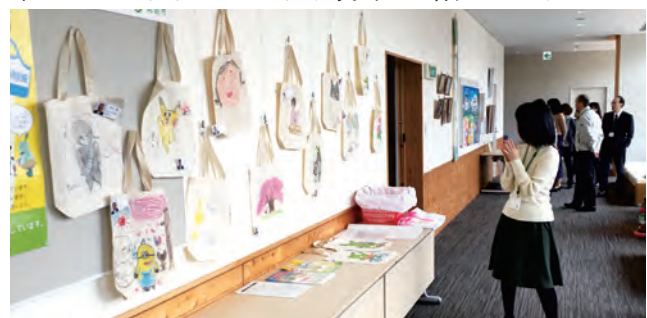
まにぞうに見送られ久世駅をスタート

3年かけて整備していた“旭川サイクリングロード”が完成し、【旭川・りんくるライン】と名付けられました。4月27日開通記念行事が勝山、久世、落合でそれぞれ行われました。約25kmの旭川・りんくるラインをお楽しみください。

議場とロビーを開放 310名来場

久世トンネル桜の眺望を楽しんでもらおうと、3月28日から4月12日まで、4階ロビーと議場を開放し、初日は議員と事務局職員によるミニコンサートで幕を開けました。

期間中、310名の市民の皆さんに、満開の桜とロビーに展示した議員手作りのエコバック等の作品を楽しんでいただきました。写真は4階ロビー。



ハガキありがとう

議会クイズの答えのそばに色々なコメントが添えられています。



今回も「ジビエカーは貸し出すのですか。手続きは簡単にできますか。」市役所の答えは「ジビエカーは、食品衛生法に基づく食品衛生食肉処理業の許可が必要です。国産ジビエ認証制度等に沿った高度な衛生管理が求められます。このため、一般の方への貸し出しは行わず、資格を持った職員(地域おこし協力隊)が行います。」とのこと。写真は今回届いたハガキ。

真庭市議会議員 会派の所属状況

※会派は、政策集団であり、派閥ではありません。会派の並びは所属人数五十音順です。平成31年3月28日届出

真和会 しんわかい

会派代表者

入澤 長谷柴緒
澤田 尾本田形
廣 彰正
成 修良志尚

緑真会 りよくしんかい

会派代表者

河部 初築氏
敏篤 本澤平
辰 勝夫正夫

森真会 しんしんかい

会派代表者

小田 竹庄大
田 原司月
康 茂史説
文 三郎子

みんなの会 みんなのかい

会派代表者

原 福中
井尾 莊哲
秀 助雄樹

未来 みらい

会派代表者

柿本 山中
本元 本
健 久唯
治 恵資

公明党真庭市議団 こうめいとうまにわしぎだん

会派代表者

岩本 妹尾
智壯 之八

日本共産党 にほんきょうさんとう

会派代表者

岡崎 陽輔

拓 たく

会派代表者

福島 一則

会派を組織していない議員

古南 源二

GIKAI NO UGOKI

議会の動き

1月 2月 3月 4月編



SDGsを学ぶ 写真右は伊勢谷友介氏

3月10日「SDGs未来都市真庭フォーラム」が勝山文化センターで開催されました。SDGsとは、持続可能な開発目標のことで、誰一人取り残さない理念のもと、多様性と包摂性のある社会を目指す17の共通目標です。(写真左は太田昇市長)

フォーラムでは、市民団体の活動発表、俳優の伊勢谷友介氏と太田市長の対談がありました。



新規就農林者への激励と紹介

1月18日、真庭いきいき農林業者のつどいが開催されました。新規就農者として、斎藤雅之氏・上田陸氏・岩本和久氏、新規就林者として、石田哲平氏・勝部成起氏・宮田一志氏・池町昌氏、以上の方々の激励と紹介がありました。真庭の農林業を支えて頂く若者達に拍手を送ります。

写真はエスパスホールで挨拶する新規就農林者。



放課後児童クラブきやまっこ開設

3月30日、「放課後児童クラブきやまっこ」の開所式が開催されました。開設に当たり、社会福祉法人檜山荘の支援を受け、場所は公共施設を活用するようにと市からの指導により、落合人権・福祉センターに開設となりました。将来は、木山小学校に移転することになっています。写真はきやまっこの開所式。



研修で開かれた議会を学ぶ

1月29日、講師に環太平洋大学・経営学部准教授林紀行氏を迎え「地方分権時代における地方議会の役割」と題して議会研修会を行いました。

これからの地方議会が問われることは、住民から寄せられた意見をどう整理し、実現を図っていくのかということであり、成果が重要になります。その成果を積み重ねることで「開かれた議会」への扉が開かれることを学びました。

真庭市議会は住民に寄り添い、思いを実現するために情報を積極的に公開し、住民参加を促進することで「開かれた議会」の次のステージに進むことを目指します。写真はワークショップの様子。



逆さ蒜山 安東弘貴 里海米写真コンテスト最優秀賞作品

議会 広報

「市民と議会のいい関係づくり」のため、がんばりますので、よろしくお願いします。
議会広報編集
特別委員会



しあわせ



地域サロンのランチ さくらもち

真庭里海米
①

ジンカン 東京 大月康成



やる気 洗耳



私のふる里 難波己喜夫

議会改革を推進していく

議長の諮問機関として、議会定例会と臨時会の会期や議案の取扱いなど議会運営にかかわる事項に関して十分に協議を行い円滑な運営に取り組みます。

また、議会運営委員会の会議運営にあたっては、全会一致で決定できるよう委員等の相互理解に努めます。議会活性化を進めるための15施策に積極的に取り組み議会改革を推進してまいりますので、皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

議会運営委員会 委員長 築澤 敏夫

実現可能な施策を提案する

総務常任委員会では、今後2年間の活動目標として、①SDGs(持続可能な開発目標17項目)の推進策②高等教育機関(日本語学校・市独自の専門学校等)立地可能性調査の研究③地域の防災力強化(災害に強い町づくり)の推進④人口減少に伴う担い手不足対策(移住・定住・交流人口の増加策)を政策立案の4本柱として、政策提案に向けた調査研究を行い、実現可能な施策を提案する活動を行います。皆さまのご意見等お待ちしております。

総務常任委員会 委員長 原 秀樹

くらしに役立つ政策づくり

議会は、平成28年12月、議会基本条例の全面実践を目指して、全議員合意で、議会活性化15施策を決定しました。その軸に、委員会活動を中心にした政策形成サイクルがあります。市民意見や要望を市政に反映させることは、住民福祉の向上に直接的に繋がります。

市民の皆さんとともに、委員が自由に論議しながらくらしに役立つ政策づくりができたと思います。

市民の皆さんの声を聴かせてください。

文教厚生常任委員会 委員長 岡崎 陽輔

エスディー・ジーズ

SDGs 未来都市選定に感謝

自然形態の破滅は、生態系の異変に繋がっていく。現実には山崩れ、河川の水質の悪化に端的に表れている。中でも気になるのは水質悪化である。水質の保全、浄化にはいかに森林が大事であることを全市民は認識しなければならない。山は荒れ放題、河川は汚れ、魚介類、水生昆虫も住めない最悪の状況にある事を知っていただきたい。

そうした中で幸いな事に市の努力により真庭市はSDGs未来都市に選定された。有難い事である。

産業建設常任委員会 委員長 河部 辰夫

市民 の 広場

ここは市民みんなでつくるページです
楽しい気持ちでご参加ください



旧遷喬小学校 岩垣正道作 寄付いただいた版画は校長室に展示しています



木工芸寄木 西本光男



早く帰ってきて ミー



まんまるまほちゃん 港の洋子



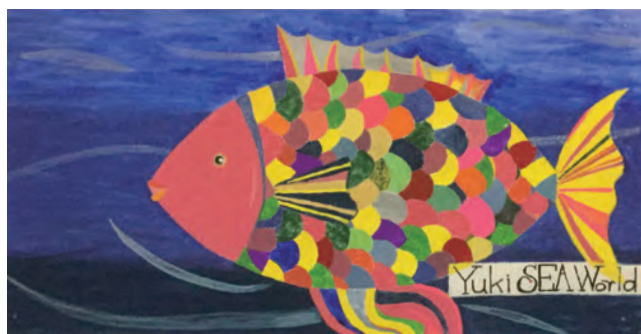
ちっちなカメラマン ヨコ



上田文化祭ファッションショー M子



水彩画 Rジュニア



ユキちゃんの海の中の世界 keと



ピカチュウ せい

桜 竹原チルドレン

東京オリンピック み&そ



明日に向かってジャンプ Yu-

BO 集

絵画、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。

「投稿! 言いたい」は200字以内にまとめ、ご応募ください。文責として氏名を掲載します。誹謗中傷等の内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。

〔応募先〕 真庭市議会

宛先: 24ページの緑帯欄に記載しています

6月定例会の日程

5月31日(金)本会議(開会、提案説明)
6月5日(水)本会議(一般質問)
6日(木)本会議(一般質問)
7日(金)本会議(一般質問、議案質疑)
11日(火)12日(水)13日(木)常任委員会
17日(月)18日(火)予算審査特別委員会
21日(金)本会議(委員長報告、採決、閉会)



●この日程は予定です。
●会議は通常午前9時30分に開会します。

お知らせ

9月定例会の請願・陳情は 8月30日(金)まで

9月定例会の請願と陳情の受付は、8月30日(金)までです。

9月定例会の締切は8月30日(金)、
12月定例会の締切は11月29日(金)、
来年3月定例会の締切は1月31日(金)、
までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝祭日等の市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、
陳情の場合は、議員の紹介は必要ありません。

議会クイズ

昨年茨城県小美玉市で初めて開催され、今年9月に蒜山で開催されるのは

“○○○○○
サミット”

正解者の中から3人に「糰味ドレッシング」セットが当たります。はがきに答えとあなたの住所・

氏名を本ページ緑欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切は7月31日(水)です。

前号の応募総数は71通で、正解者70人でした。ご応募ありがとうございました。



谷本

ちょっと
1枚

山本 初本 氏平 大月 緒形 南

私たちが議会広報を作っています よろしくをお願いします

平成を振り返る...

元号が令和になって1か月が過ぎました。皆さん何回「令和」とお書きになったでしょうか。真庭市は令和元年(2019年)と併記すると決めました。令和時代、災害のないおだやかな日々が続くことを願っています。 敬称略
さて、平成の30年で首相(総理大臣)は17人でした。ちょっと振り返ってみます。①竹下登②宇野宗佑 ③海部俊樹 ④宮澤喜一 ⑤細川護熙 ⑥羽田孜 ⑦村山富市 ⑧橋本龍太郎 ⑨小渕恵三 ⑩森喜朗 ⑪小泉純一郎 ⑫安倍晋三 ⑬福田康夫 ⑭麻生太郎 ⑮鳩山由紀夫 ⑯菅直人 ⑰野田佳彦 ⑱安倍晋三です。再登板の安倍政権と小泉政権が長かったと言えます。
平成17年3月31日に、北房、落合、久世、勝山、美甘、湯原、中和、八束、川上の9町村が合併して真庭市が誕生しました。今年度15周年を迎えます。真庭市議会の議長は8人でした。①小谷孝佳 ②池田正行 ③池田文治 ④森田一文 ⑤河部辰夫 ⑥長尾修 ⑦竹原茂三 ⑧長尾修 ⑨古南源二です。1番長くした議長は長尾修で、令和元年の議長は古南源二です。
古南議会に乞うご期待を。

議会広報編集特別委員会

委員長	氏平
副委員長	大月
委員	緒形
委員	谷本
委員	初本
委員	山本
事務局	南
	俊樹
	恵樹
	勝久
	良彰
	尚子
	正子

議会改革 新たなステージへ

議会おもしろ話